

6 県内市町村が実施したアンケート等によるニーズ

市町村が地域公共交通計画等を策定する際には、住民アンケートや利用者アンケート等を実施しており、その中では今後の交通のあり方に関する取りまとめもされています。

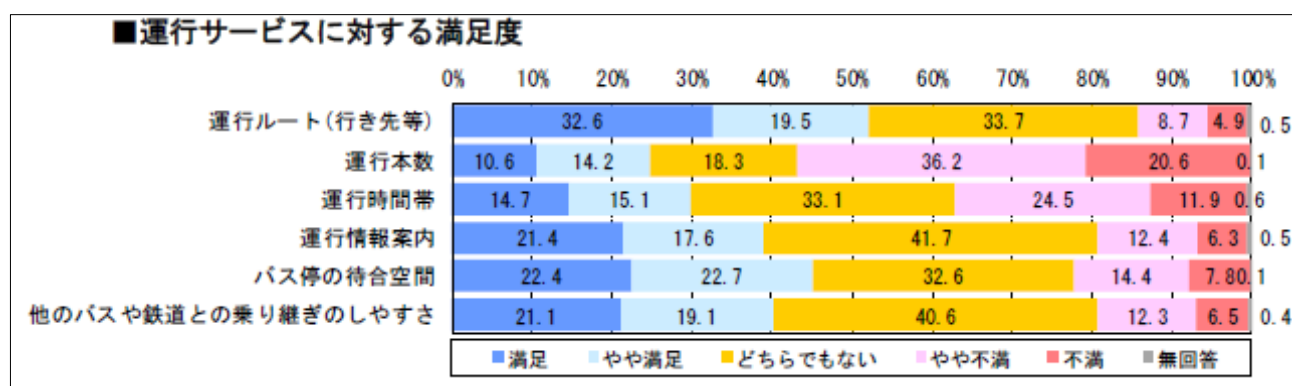
以下に、県内3地域における一部のアンケート結果を示します。

(1) 運行サービスに対する満足度

① 県南ゾーン（八潮市）

八潮市の路線バス利用実態調査によると、運行サービスに対する満足度は、「運行ルート（行き先）」で満足率が高いものの、「運行本数」や「運行時間帯」で不満率が高くなっています。

図 運行サービスに対する満足度（路線バス利用実態調査の結果）



出典：八潮市地域公共交通計画

② 圏央道ゾーン（入間市）

入間市のバス利用者意識調査によると、路線バスの満足度は約半数で、満足が不満を上回っています。不満を感じる理由は、「運行本数を増やしてほしい」が多くなっています。

図 運行サービスに対する満足度（路線バス利用者意識調査の結果）

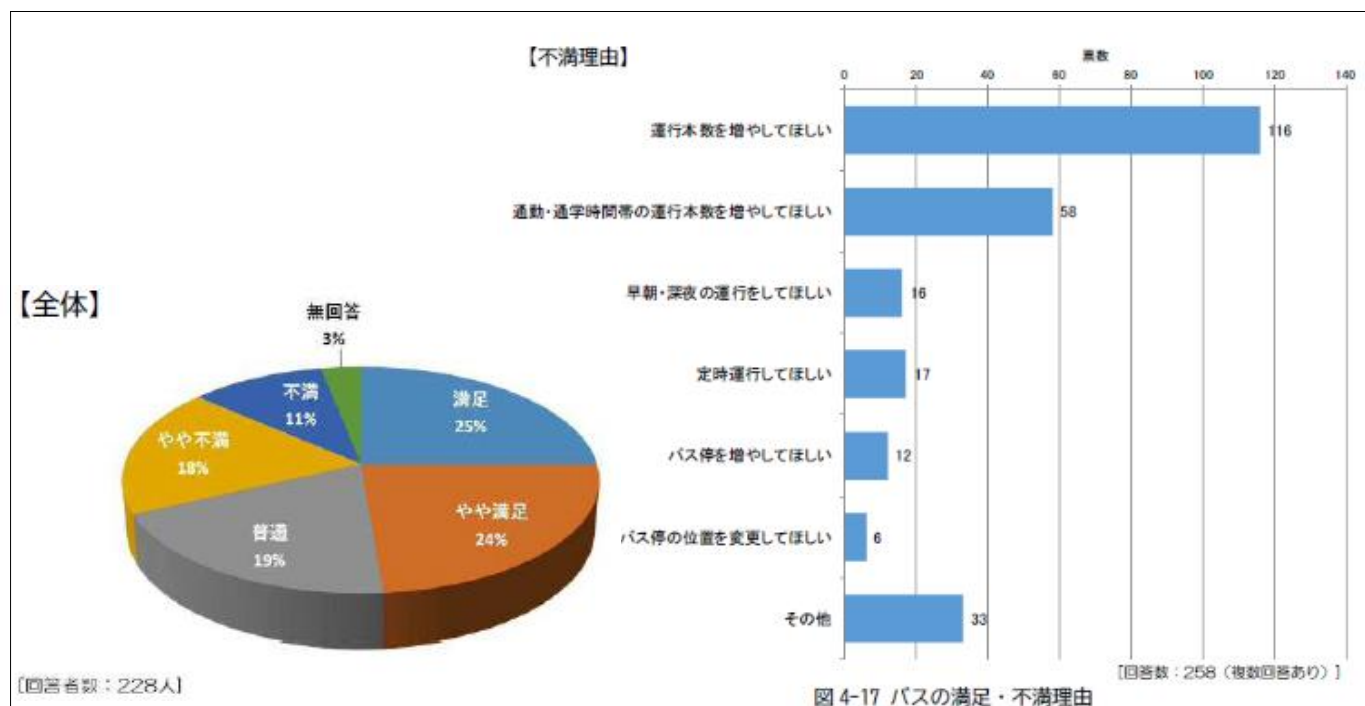


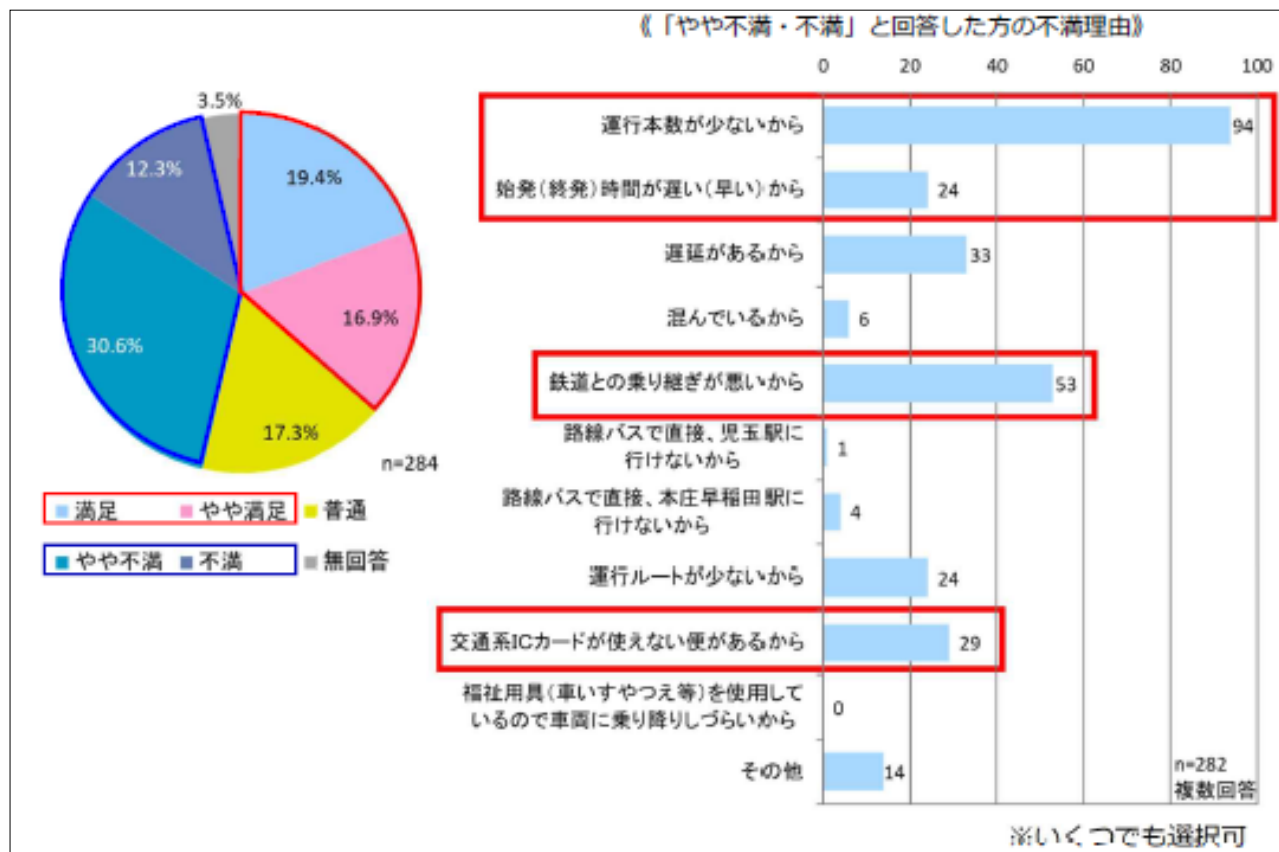
図 4-17 バスの満足・不満理由

出典：入間市地域公共交通計画

③ 県北ゾーン（本庄市）

本庄市の路線バス利用実態調査によると、路線バスの満足度は、「やや不満・不満」が「満足・やや満足」を上回り、その理由として「運行本数が少ない」や「鉄道との乗り継ぎが悪い」、「ICカードが使えない」ことが多く挙げられています。

図 運行サービスに対する満足度（路線バス利用実態調査の結果）



出典：本庄市地域公共交通計画

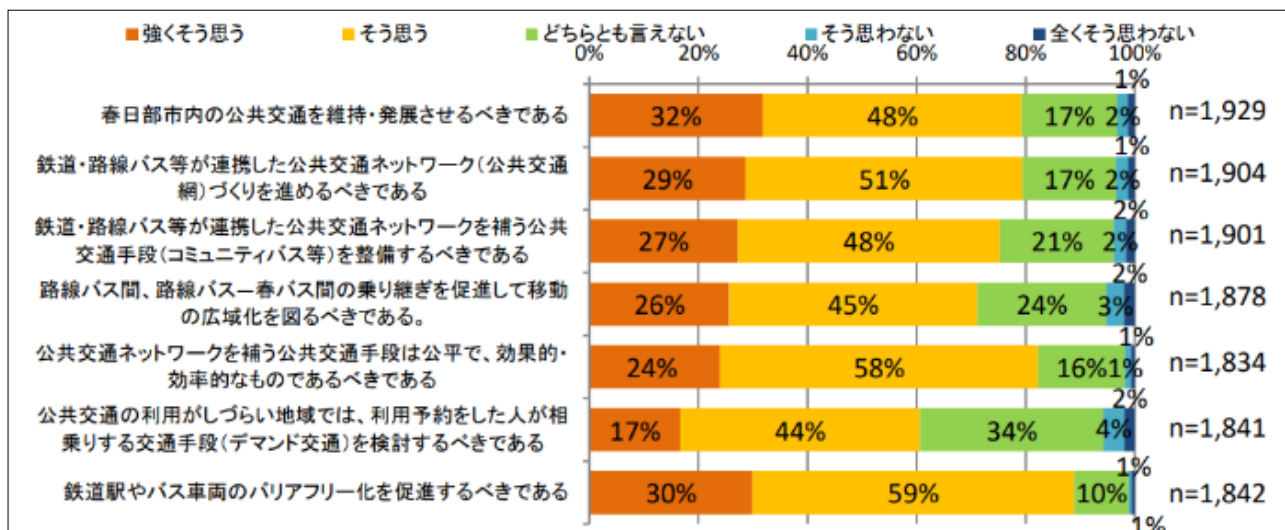
(2) 今後の交通サービスのあり方

① 県南ゾーン（春日部市）

春日部市地域公共交通計画では、市民が考える目指すべき交通サービスのあり方のアンケート調査結果が掲載されています。

バリアフリー化の促進を除き、取り組みの方向性として望まれているのは、「公共交通ネットワークを補う公共交通手段は公平で、効果的・効率的なものであるべき」や「市内の公共交通を維持・発展させるべき」などへの肯定的な回答が多くなっています。

図 公共交通全般に関する市の取り組みの方向性について（市民アンケート）



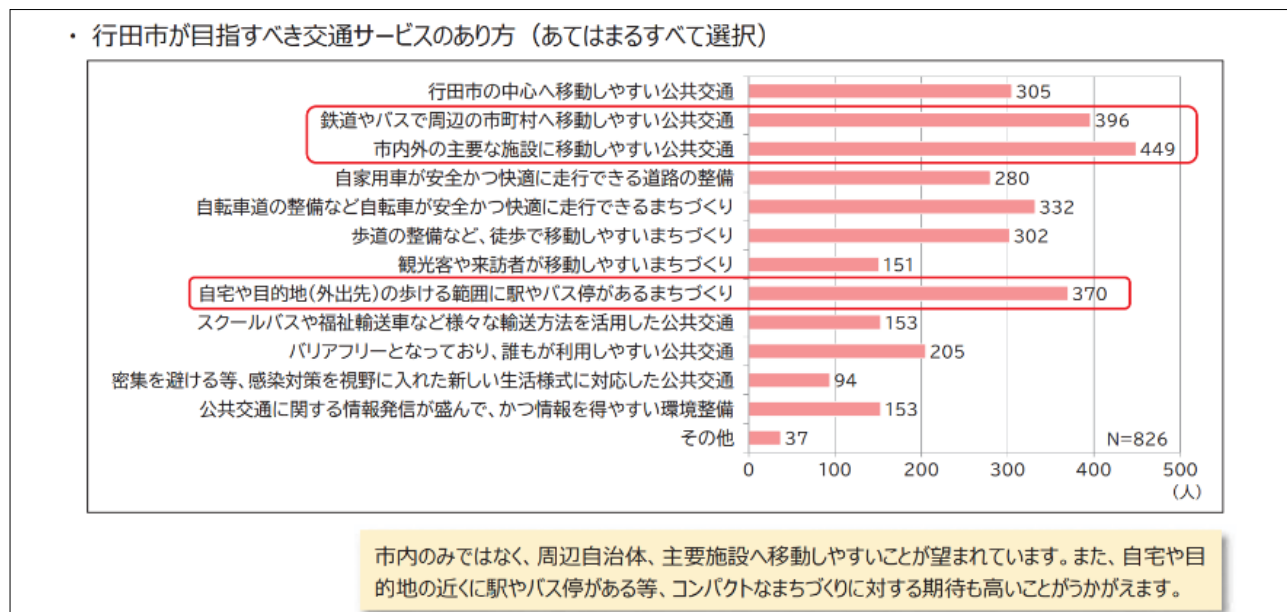
出典：春日部地域公共交通計画

② 圏央道ゾーン（行田市）

行田市地域公共交通計画では、市民が考える目指すべき交通サービスのあり方のアンケート調査結果が掲載されています。

市民は、「市内外の主要な施設に移動しやすい公共交通」や「鉄道やバスで周辺市町村へ移動しやすい公共交通」などを目指すべき交通サービスのあり方と考えています。

図 行田市が目指すべき交通サービスのあり方（市民アンケート）



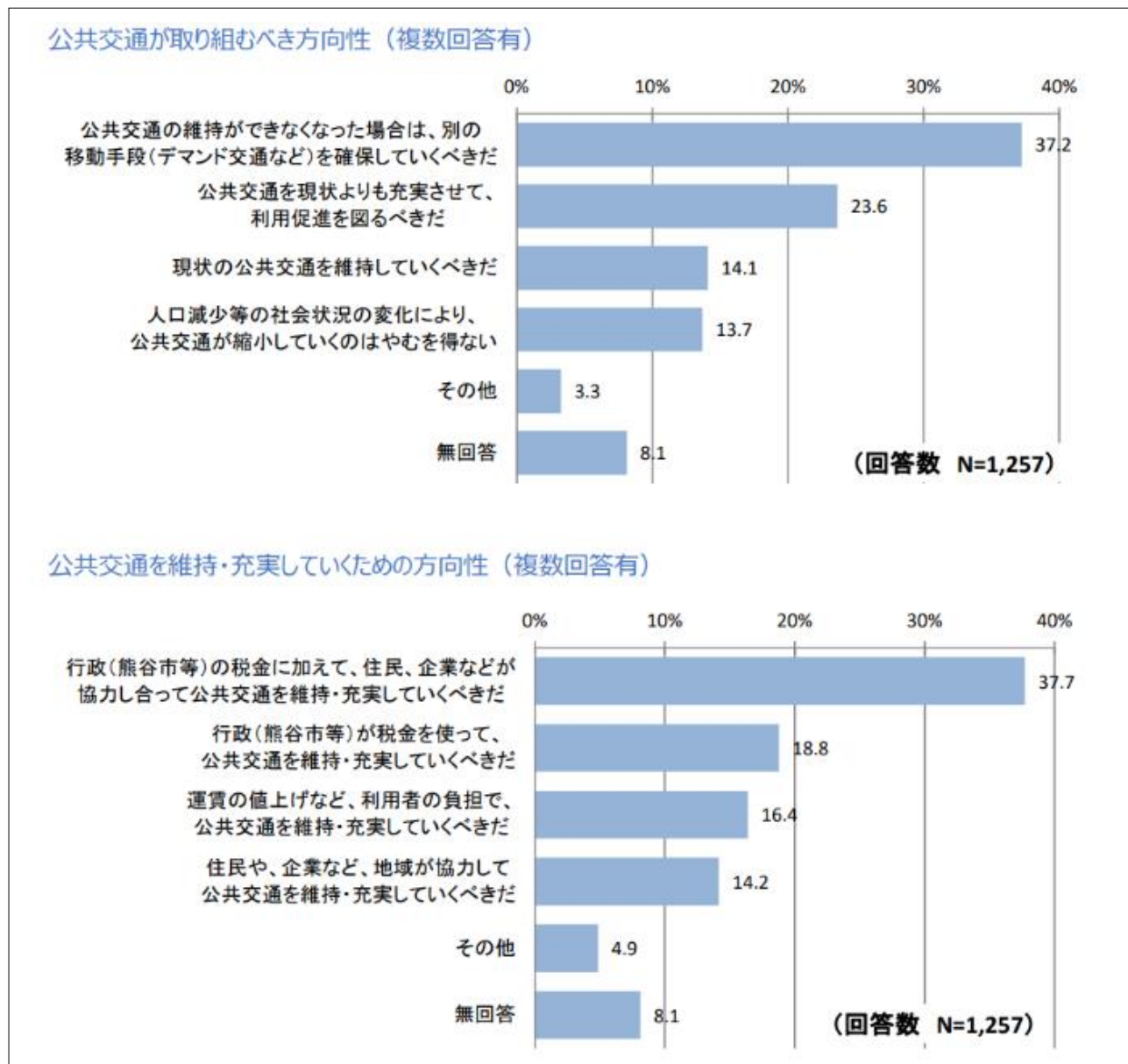
出典：行田市地域公共交通計画

③ 県北ゾーン（熊谷市）

熊谷市地域公共交通計画では、市民が考える公共交通が取り組むべき方向性や公共交通を維持・充実していくための方向性が掲載されています。

今後取り組むべき方向性としては、「公共交通の維持ができなくなった場合は、別の移動手段を確保していくべき」、維持・充実していくための方向性としては、「行政の税金に加えて、住民、企業などが協力し合って公共交通を維持・充実していくべき」と考えている人が多い状況です。

図 熊谷市が目指すべき交通サービスのあり方（市民アンケート）



出典：熊谷市地域公共交通計画